

ヒメイタビ

Ficus thunbergii Maxim.
クワ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1地区のみである。

分 布

本州（千葉県以西）～九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

暖地の林内に生える常緑藤本。茎から根を出して他物に登る。葉は厚く、長さ2～6cm、幅1～3cm、全縁、表面は無毛、裏面は脈上に毛がある。7～8月頃、葉腋に花囊を1個付ける。花囊は球形で径約1cm、白色の毛が散生する。雌雄異株。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1989a）、福井県植物研究会（2001）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

ツクバネガシ

Quercus sessilifolia Blume
ブナ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。

分 布

本州（宮城県・富山県以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

沢沿いの急斜面等にも生える常緑高木。高さ20m、径60cmに達する。葉は互生し、ふつう長さ4～12mmの柄があり、長さ5～12cm、上半部には少数のやや鋭い低い鋸歯がある。5月、新枝の下部に雄花序が数個付いて下垂し、新枝の上部の葉腋に雌花序が直立する。

生育を脅かす要因

森林伐採などによる生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1989a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○											○

シラカンバ

Betula platyphylla Sukaczew var. *japonica* (Miq.) H.Hara
カバノキ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県を分布の西限とし、生育地は限定される。

分 布

北海道、本州中部以北に分布。県内では奥越にのみ見られる。

種の特徴

日当たりのよい山地に生える落葉高木。樹皮は白色、薄く剥がれる。葉は短枝では1対つき、三角状広卵形、長さ6～11cm、重鋸歯がある。花期は4月。雌雄同株。雌花序は短枝につき、果穂になると下向きになる。別名シラカバ。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 茂木透他（2000a）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	